

令和6年3月14日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会  
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第10週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

**【問合せ先】**

大阪府医師会・地域医療1課  
TEL 06-6763-7012

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

## 2024年 第10週（3月4日～3月10日）

### 今週のコメント

～RSウイルス感染症～ 咳エチケット、手洗いが重要

#### 定点把握感染症

「RSウイルス感染症 さらに増加」

第10週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,490例であり、前週比9.6%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、手足口病、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ6.20、3.58、1.55、0.43、0.41である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の1,228例で、北河内8.08、三島8.06、泉州7.10、大阪市南部6.89、南河内6.88であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は17%増の709例で、堺市5.68、南河内4.75、大阪市南部4.33である。

RSウイルス感染症は53%増の307例で、北河内2.64、大阪市北部2.36、堺市2.21であった。第6週以降、増加が見られており、今後の動向には注意が必要である。

手足口病は11%減の85例で、泉州1.29、中河内0.65、南河内0.63であった。

咽頭結膜熱は2%減の82例で、南河内0.88、泉州0.81、大阪市北部・北河内0.64である。

インフルエンザは11%減の2,439例で、定点あたり報告数は7.94であった。南河内12.75、大阪市北部10.70、大阪市西部8.80、堺市8.66、北河内8.05であり、5週連続で減少している。

新型コロナウイルス感染症は9%減の1,333例で、定点あたり報告数は4.34であった。泉州5.71、南河内5.21、堺市5.10、大阪市東部5.05、北河内4.63であり、5週連続で減少している。

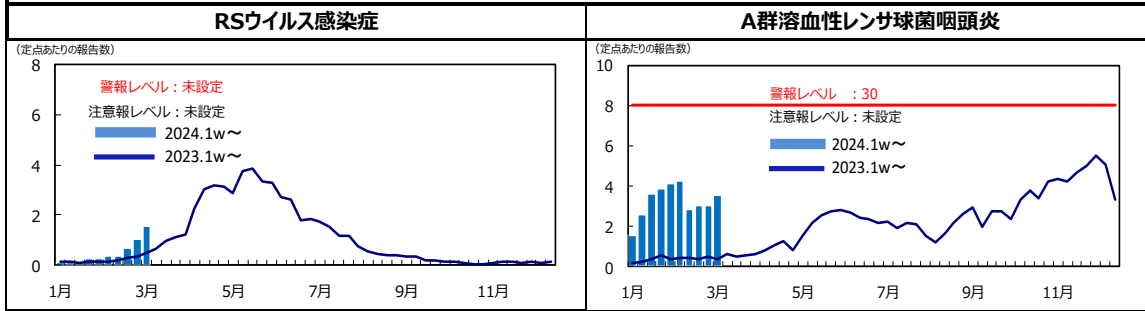


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第10週3月4日～3月10日）

第10週の順位	第9週の順位	感染症	2024年 第10週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2023年 第10週の 定点あたり 報告数	2024年第10週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	6.20	5%増	5.98	1歳_12%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.58	17%増	0.49	6歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	1.55	53%増	0.52	1歳未満_31%
4	4	手足口病	0.43	11%減	0.02	1歳_35%
5	6	咽頭結膜熱	0.41	2%減	0.08	1歳, 2歳_16%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	7.94	11%減	8.27	10-14歳_27%
参考		新型コロナウイルス感染症 (COVID-19定点報告疾患)	4.34	9%減	-	10-19歳_14%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

## 第10週のコメント

～麻疹～ ワクチンで予防可能な感染症です。大阪府内の麻疹の発生動向について、第10週（3月4日-3月10日）に1例、2024年の累積報告数は2例です。

### 全数把握感染症

#### 麻疹

麻疹（はしか）は麻疹ウイルスによって引き起こされる発熱を伴う発疹性疾患で、感染すると高熱と結膜炎などの症状と、全身性の発疹が出現する。潜伏期間は1-2週間である。強い感染力（一人の患者が12～18人に感染伝播）のため、麻疹発生時には早期の診断と感染拡大に対する措置が重要となる。2015年3月、日本は麻疹排除国に認定されている。しかし、現在でもアジア、アフリカやヨーロッパ諸国で麻疹が流行している。症状（発熱、せき、鼻水、眼球結膜の充血、発疹等）があり、1）1か月以内に麻疹患者と接触していた場合、2）麻疹流行国（主にアジア、欧州及びアフリカ諸国）や地域へ最近の旅行歴がある場合、麻疹を疑い、感染拡大を防止するため、医療機関を早期に受診する。受診に際し、医療機関に事前連絡し、麻疹疑いを伝え、指示に従うことが重要である。麻疹はワクチン（1歳以上で2回）で予防可能な感染症であり、接種の徹底が予防や感染拡大の防止に重要である。

[麻疹情報（大阪府感染症情報センター）](#)

[麻疹とは（国立感染症研究所）](#)

#### 年別累積報告数

2024年は大阪府が第10週、全国は第9週時点

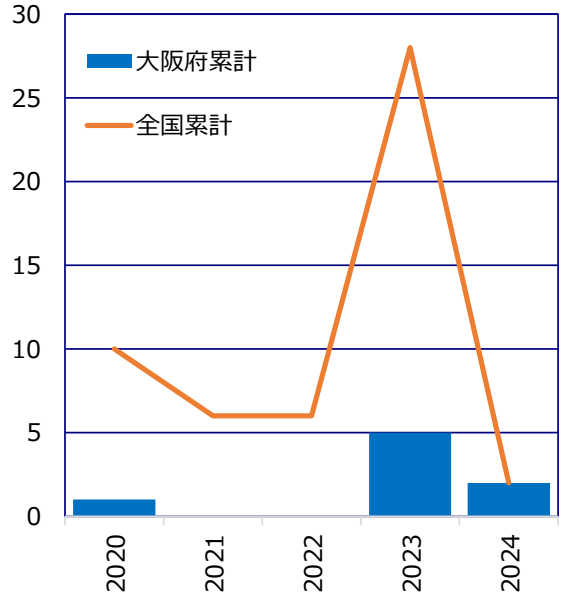


表 2. 大阪府全数報告数（2024年 第10週3月4日～3月10日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。）

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	1			1						17
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1							31
	クリプトスポリジウム症	1								1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1							12
	侵襲性肺炎球菌感染症	3					1	1		1	53
	水痘（入院例）	1			1						4
	梅毒	21				1	1	2	4	13	282
	百日咳	1								1	10
	麻疹	1						1			2
結核 (2024年1月分)	結核 新登録患者数：76名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 30名) (府内累積報告数 76名、内 肺・喀痰塗抹陽性 30名)										

(2024年3月12日 集計分)

感染症発生動向調査情報 (ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数)

2024年3月12日

(ブロック別)

(年齢別)

第10週 2024年3月4日～2024年3月10日

ブロック名		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部	
定点数	小児科	23	17	25	20	16	19	21	14	10	15	18	198
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	52
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	4				18
	インフルエンザ	37	27	41	31	24	29	34	20	15	22	27	307
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	16	19	66	17	22	42	30	33	15	23	24	307
	咽頭結膜熱	10	2	16	4	14	3	17	9	1	3	3	82
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	32	101	49	76	108	86	44	27	49	78	709
	感染性胃腸炎	117	137	202	123	110	95	149	91	53	27	124	1228
	水痘	7	1	4	2	5	1	2	0	1	1	2	26
	手足口病	1	6	10	13	10	6	27	7	1	2	2	85
	伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	突発性発しん	6	2	2	7	1	3	2	0	2	3	2	30
	ヘルパンギーナ	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
	流行性耳下腺炎	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	4
把握科 定点疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	流行性角結膜炎	0	1	3	2	1	0	2	0	0	3	1	13
合計		218	201	404	219	240	258	315	186	100	111	238	2490
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	0	2	4	0				7
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	1	0	0				1
イ定	インフルエンザ	269	167	330	245	306	251	202	214	132	106	217	2439

年齢区分	6	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20	合計
	ヶ月未満	ヶ月未満	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳から14歳	歳から19歳	歳以上	
R	40	54	82	65	34	16	9	1	1	3	2	0	0	0	307
咽	0	6	13	13	10	12	7	10	4	3	0	3	0	1	82
A	0	3	18	39	54	82	96	99	72	64	48	94	9	31	709
感	12	69	142	135	100	104	119	100	72	81	57	139	20	78	1228
水	0	0	1	0	1	1	1	8	2	4	1	5	0	2	26
手	0	6	30	22	15	6	2	2	1	0	1	0	0	0	85
伝	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
突	0	6	17	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
へ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
流	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
急	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
流	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	7	13
合計	52	144	304	281	219	223	235	221	152	155	109	244	30	121	2490
細	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マ	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	1	0	1	7
ク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
イ	11	22	55	74	106	122	164	236	209	183	211	650	116	280	2439

前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2024年3月12日

(ブロック別)

第10週 2024年3月4日～2024年3月10日

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
定点数	小児科	23	17	25	20	16	19	21	14	10	15	18	86	57	19	12	8	8	8	198	
	眼科	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	4	20	17	5	3	2	2	3	52	
	基幹	2	2	2	2	2	2	2	4			9	4	2	1	2	0	0	18		
	インフルエンザ	37	27	41	31	24	29	34	20	15	22	27	137	84	29	18	13	13	13	307	
小児科 定点把握疾患	RSウイルス感染症	▲ 16	▲ 19	▲ 66	17	22	▲ 42	30	33	▲ 15	△ 23	▲ 24	▲ 98	▲ 95	▲ 42	▲ 13	▽ 4	△ 4	△ 26	▲ 307	3
	咽頭結膜熱	▽ 10	▽ 2	△ 16	▽ 4	14	△ 3	△ 17	△ 9	△ 1	▽ 3	▽ 3	▲ 43	16	△ 3	▽ 4	1	▽ 6	0	82	5
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	△ 32	101	49	▲ 76	△ 108	△ 86	△ 44	27	49	78	△ 258	198	△ 108	33	△ 6	▲ 24	30	709	2
	感染性胃腸炎	117	137	△ 202	123	110	95	△ 149	91	△ 53	27	124	511	295	95	48	50	47	61	1228	1
	水痘	7	▽ 1	▲ 4	2	△ 5	▽ 1	△ 2	▽ 0	▽ 1	△ 1	△ 2	9	4	▽ 1	△ 2	0	△ 6	△ 3	26	
	手足口病	▽ 1	▲ 6	10	▽ 13	△ 10	△ 6	27	7	▼ 1	△ 2	▽ 2	42	▼ 12	△ 6	▽ 11	2	1	5	85	4
	伝染性紅斑	1	0	0	▽ 0	▽ 0	0	▽ 0	0	0	0	△ 1	▽ 0	△ 1	0	0	0	△ 1	0	▽ 2	
	突発性発しん	△ 6	▲ 2	▽ 2	7	▽ 1	△ 3	▽ 2	▽ 0	2	▲ 3	2	▽ 7	▽ 7	△ 3	▲ 6	▲ 2	△ 4	▼ 0	30	
	ヘルパンギーナ	▽ 0	▽ 1	▽ 0	▽ 0	△ 1	▼ 0	▼ 0	0	0	0	▽ 1	2	▼ 1	▼ 0	▽ 0	▽ 0	▽ 0	▽ 0	▼ 3	
	流行性耳下腺炎	1	0	▽ 0	△ 2	▽ 0	▽ 0	▽ 0	1	▽ 0	0	0	▽ 0	▽ 1	▽ 0	△ 1	0	△ 1	0	▽ 4	
把握科 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1	
	流行性角結膜炎	▽ 0	1	△ 3	2	▽ 1	▼ 0	▽ 2	0	0	▽ 3	△ 1	▽ 4	▽ 4	▼ 0	2	0	0	0	▽ 13	
合計		218	201	△ 404	219	240	258	315	186	△ 100	△ 111	238	974	635	258	120	65	△ 94	125	2490	
基幹 定点把握疾患	細菌性髄膜炎	0	▽ 0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	▽ 0	△ 2	△ 4	0			▲ 4	▽ 0	△ 2	0	1	0	0	0	△ 7	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	△ 1	0	0			0	0	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1	
イ定	インフルエンザ	269	▼ 167	330	▼ 245	306	251	202	214	▼ 132	△ 106	217	845	669	251	174	▼ 52	103	126	2439	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2024年09週(02月26日～03月03日)

1～4類 (全数把握)	報告数
エボラ出血熱	0
クリミア・コンゴ出血熱	0
痘そう	0
南米出血熱	0
ペスト	0
マールブルグ病	0
ラッサ熱	0
新型インフルエンザ (A/H1N1)	0
急性灰白髄炎	0
結核	258
ジフテリア	0
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	0
鳥インフルエンザ (H5N1)	0
鳥インフルエンザ (H7N9)	0
コレラ	0
細菌性赤痢	1
腸管出血性大腸菌感染症	26
腸チフス	2
パラチフス	0
E型肝炎	12
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	0
A型肝炎	2
エキノコックス症	0
エムボックス	1
黄熱	0
オウム病	0
オムスク出血熱	0
回帰熱	0
キャサヌル森林病	0
Q熱	0
狂犬病	0
コクシジオイデス症	0
ジカウイルス感染症	0
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	1
腎症候性出血熱	0
西部ウマ脳炎	0
ダニ媒介脳炎	0
炭疽	0
チクングニア熱	0
つつが虫病	0
デング熱	1
東部ウマ脳炎	0
鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9を除く。)	0
ニパウイルス感染症	0
日本紅斑熱	1
日本脳炎	0
ハンタウイルス肺症候群	0
Bウイルス病	0
鼻疽	0
ブルセラ症	0
ベネズエラウマ脳炎	0
ヘンドラウイルス感染症	0
発しんチフス	0
ボツリヌス症	0
マラリア	0
野兔病	0
ライム病	0
リッサウイルス感染症	0
リフトバレー熱	0
類鼻疽	0
レジオネラ症	25
レプトスピラ症	0
ロッキー山紅斑熱	0

5類感染症の一部 (全数把握)	報告数
アメーバ赤痢	7
ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	2
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	27
急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)	0
急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を)	10
クリプトスポリジウム症	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	4
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33
後天性免疫不全症候群	11
ジアルジア症	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	11
侵襲性髄膜炎菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	26
水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)	13
先天性風しん症候群	0
梅毒	201
播種性クリプトコックス症	3
破傷風	1
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3
百日咳	12
風しん	0
麻しん	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0

定点把握	報告数	定点当り
インフルエンザ	68883	13.96
COVID-19	34488	6.99
R Sウイルス感染症	904	0.29
咽頭結膜熱	2994	0.96
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12192	3.89
感染性胃腸炎	17166	5.48
水痘	404	0.13
手足口病	683	0.22
伝染性紅斑	60	0.02
突発性発しん	659	0.21
ヘルパンギーナ	103	0.03
流行性耳下腺炎	85	0.03
急性出血性結膜炎	9	0.01
流行性角結膜炎	313	0.45
細菌性髄膜炎	5	0.01
無菌性髄膜炎	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	38	0.08
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	4	0.01

定点数	
インフルエンザ/COVID-19	4936
小児科	3134
眼科	694
基幹病院	482

2月(月報)	性感染症・基幹定点	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症		2346	2.40
性器ヘルペスウイルス感染症		743	0.76
尖圭コンジローマ		487	0.50
淋菌感染症		747	0.76
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1325	2.77
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		74	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症		7	0.01

定点数	
STD	979
基幹病院	478

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。

2024年3月12日

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ブロック別・疾患別・年齢別患者発生数

(ブロック別)

第10週 2024年3月4日～2024年3月10日

ブロック名	01 豊能	02 三島	03 北河内	04 中河内	05 南河内	06 堺市	07 泉州	08 大阪市 北部	09 大阪市 西部	10 大阪市 東部	11 大阪市 南部	合計
COVID-19定点数	37	27	41	31	24	29	34	20	15	22	27	307
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	130	75	190	115	125	148	194	88	42	111	115	1333
疾病名	定点あたり報告数											
新型コロナウイルス感染症	3.51	2.78	4.63	3.71	5.21	5.10	5.71	4.40	2.80	5.05	4.26	4.34
9週	4.35	3.89	4.46	3.42	5.04	5.69	5.09	6.45	4.00	5.64	5.30	4.79
8週	3.89	4.30	5.68	4.13	6.29	5.41	4.44	6.80	4.73	4.59	5.63	5.02
7週	5.62	4.96	7.20	4.81	9.17	6.62	6.59	6.25	5.93	6.45	6.67	6.38
6週	7.19	6.30	9.07	7.32	12.17	9.00	7.24	7.95	5.60	5.50	7.48	7.82
5週	7.92	7.50	11.15	9.35	13.54	10.59	9.09	8.35	7.13	7.45	9.22	9.36

(年齢別)

年齢区分	0歳	1歳 から 4歳	5歳 から 9歳	10歳 から 19歳	20歳 から 29歳	30歳 から 39歳	40歳 から 49歳	50歳 から 59歳	60歳 から 69歳	70歳 から 79歳	80歳 以上	合計
疾病名	報告数											
新型コロナウイルス感染症	49	118	153	183	104	112	109	134	111	123	137	1333
	4%	9%	11%	14%	8%	8%	8%	10%	8%	9%	10%	